



**profile**  
2015年3月2日生まれ。  
オス、5歳。父ディーブインパクト、母メジロツボネ。

# Spotlight

スポットライト

## 国際G1レース 香港ヴァーズ優勝 グローリー ヴェイズ号

グローリーヴェイズ号が昨年12月8日に香港のシャンティ競馬場で行われた、国際G1レース「香港ヴァーズ」で見事優勝しました。2015年3月2日、成香地区にある、(株)レイクヴィラファームで誕生。馬名には

「栄光のつば」という意味があり、母親のメジロツボネから連想されることから名付けられました。

同ファームの岩崎義久さんは「生まれつき体は小さかったけれど、走りにはバネがありました。顔にも品があり、走る馬としての雰囲気を持ち、性格は素直でおとなしいですが、非常に賢い馬です」と生まれたときの様子や特徴を話します。

2歳になった2017年10月1日、中山競馬場で行われた新馬戦で、デビュー勝ちを収めました。以降のレースでは惜敗が続きました。昨年1月、4歳初戦となった日経新春杯で重賞初勝利を飾り、続く大レースの1つである天皇賞(春)では、勝ち馬と激しい競り合いを見せましたが、惜しくも2着に敗れました。

今回のレースについて岩崎さんは「この馬は、京都競馬場のように平坦なコースで好走したので、比較的コース形態が似ている香港の競馬場で

あれば勝算があると見込んでレースに登録しました。コースを知り尽くすジョアン・モレイラジョッキの素晴らしい手綱さばきとそれに応えた馬の力が勝利に繋がった」と話します。

2011年にメジロ牧場から事業を引き継いだ同ファームの生産馬として初めてG1レースに勝利しました。前身のメジロ牧場で生産され、中央競馬史上初の牝馬三冠を達成したメジロラモーヌの血を受け継ぐ馬がG1レースに勝ったことで、「メジロの血統がよみがえり、現代競馬に対応できたことがとてもうれしく、非常に価値がある」と言います。

岩崎さんは最後に「グローリーヴェイズには今後も国内外の大レースで活躍し、種牡馬になってほしい」と期待を込め、いずれは「メジロの血を引くこの馬の子どもを育て、血を残し、世界に広げていきたい」と今後の夢をグローリーヴェイズ号に託します。

### 東奔西走

**年**が明けてすぐに成人式の取材をしてきました。新成人の皆さんはとてもキラキラしていて、懐かしい友達との再会を楽しんでいる様子が印象的でした。新成人の皆さん、本当におめでとうございます。(C.K)

**今**月号は、「競走馬」にスポットライトを当ててみました。(株)レイクヴィラファームの皆さんをはじめ、関係者の皆さん、グローリーヴェイズ号、本当におめでとうございます (M.O)

### 今月のワンショット



洞爺駅前広場のイルミネーション